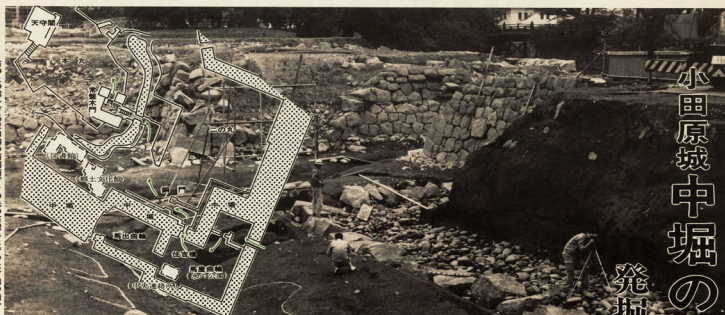




の復元始まる
発掘の成果を生かして

市は小田原城址の復元を進めています。これは、「おたわら2世紀アッセン」に基く歴史的環境と文化遺産の整備活用の一環として行っています。中堀の復元は発掘など

の成果を、江戸時代末期を基としていた。つまり、今ではよく見えない山原城委の現を指しているわけだ。堀や輪へつた復元が進むと一目で城と分かるようになって、近きまづりに地の個性を生かすことが重視されてきたが、地域個性は朝夕に変わるものではないから、そこで城跡に地域の歴史に目向けられるようになってきた。市内は山原城や、夜城の城跡ははじめたなくとも史蹟遺構を、市ははてをかし、市民生活に根ざした整備保存努めで「歴史と文化の香る都市」の実現を目指しています。

城を基本に

ので後世に伝えられます。なつて壊され、元の姿が分か

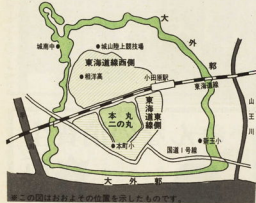
中堀の復元後の姿は、小田

たなし 城として最後の堡 がない部分に発掘調査の結果
 といっても、江戸末期に造ら を基にして復元します。

[illegible][illegible]

城跡全体の整備は

地区に合った計画を

[illegible]

